

令和3年度入学者選抜学力検査追試験問題

社 会

(配 点)

<input type="checkbox"/> 12点	<input type="checkbox"/> 16点	<input type="checkbox"/> 8点	<input type="checkbox"/> 8点
<input checked="" type="checkbox"/> 12点	<input type="checkbox"/> 12点	<input type="checkbox"/> 16点	<input type="checkbox"/> 16点

(注 意 事 項)

- 1 問題冊子は指示があるまで開かないこと。
- 2 問題冊子は1ページから14ページまである。検査開始の合図のあとで確かめること。
- 3 検査中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、静かに手を高く挙げて監督者に知らせること。
- 4 解答用紙に氏名と受検番号を記入し、受検番号と一致したマーク部分を塗りつぶすこと。受検番号が「0(ゼロ)」から始まる場合は、0(ゼロ)を塗りつぶすこと。
- 5 解答には、必ずHBの黒鉛筆を使用すること。なお、解答用紙に必要事項が正しく記入されていない場合、または解答用紙に記載してある「マーク部分塗りつぶしの見本」のとおりにマーク部分が塗りつぶされていない場合は、解答が無効になることがある。
- 6 一つの解答欄に対して複数のマーク部分を塗りつぶしている場合、または指定された解答欄以外のマーク部分を塗りつぶしている場合は、有効な解答にはならない。
- 7 解答を訂正するときは、きれいに消して、消しきずを残さないこと。

1 問1から問3までの各問い合わせに答えよ。

問1 次の表1は、え とろふとう みなみとりしま おき のとりしま よ なぐにじま 択捉島、南鳥島、沖ノ鳥島、与那国島について、ある年の夏至の日における日の出時刻と日の入り時刻、および日の出から日の入りまでの時間をまとめたものである。表1中の①から④は、択捉島、南鳥島、沖ノ鳥島、与那国島のいずれかを示している。択捉島と与那国島の組み合わせとして正しいものを、下のアからカのうちから一つ選べ。

表1

	日の出時刻	日の入り時刻	日の出から日の入りまでの時間
①	3時16分	18時58分	15時間42分
②	3時56分	17時35分	13時間39分
③	5時16分	18時39分	13時間23分
④	6時00分	19時40分	13時間40分

(国立天文台「ごよみ 諸計算室」を利用して求めた値)

- ア 択捉島-① 与那国島-②
 ウ 択捉島-② 与那国島-①
 オ 択捉島-③ 与那国島-④

- イ 択捉島-① 与那国島-④
 エ 択捉島-② 与那国島-③
 カ 択捉島-④ 与那国島-②

問2 次の表2は、南極を除く五つの大陸について、各大陸の面している大洋と、各大陸の気候帯別の面積の割合をまとめたものである。表2中のAからEは五つの大陸のいずれかを、X、Y、Zは三大洋のいずれかを示している。次ページの図を参考にして、XとYの組み合わせとして正しいものを、下のアからカのうちから一つ選べ。

表2

大陸	各大陸が面している大洋	気候帯別の面積の割合 (%)				
		熱帶	乾燥帶	温帶	冷帶 <small>(亞寒帶)</small>	寒帶
A	X, Y	38.6	46.7	14.7	—	—
B	X, Z	16.9	57.2	25.9	—	—
C	Y, Z	5.2	14.4	13.5	43.4	23.5
D	Y, Z	63.4	14.0	21.0	—	1.6
E	X, Y, Z	7.4	26.1	17.5	39.2	9.8

※表中のーは、該当数値なしを表している。(『データブック オブ・ザ・ワールド 2020年版』より作成)

- ア X-太平洋 Y-大西洋 イ X-太平洋 Y-インド洋
 ウ X-大西洋 Y-太平洋 エ X-大西洋 Y-インド洋
 オ X-インド洋 Y-太平洋 カ X-インド洋 Y-大西洋

問3 次の表3は、陸地と海洋の面積を10度ごとの緯度帯別にまとめたものである。なお、表3中のaからdは、北半球の陸地、北半球の海洋、南半球の陸地、南半球の海洋のいずれかを示している。後の図を参考にして、aとの組み合わせとして正しいものを、下のアからクのうちから一つ選べ。

表3

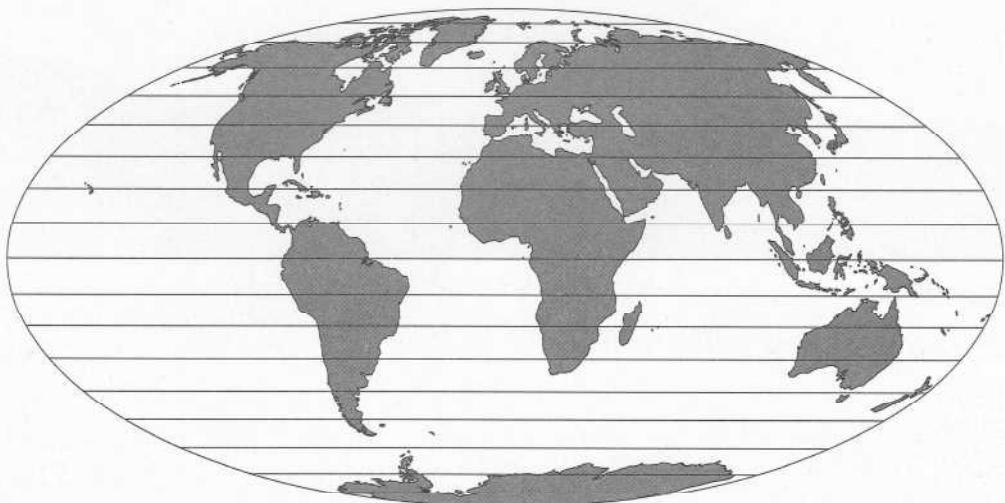
緯度帯 (単位: 度)	面積 (万 km ²)			
	a	b	c	d
0～10	1003.9	1039.9	3369.5	3405.5
10～20	1124.9	943.3	3335.5	3153.8
20～30	1511.3	931.4	3089.3	2509.3
30～40	1562.2	414.6	3226.6	2079.0
40～50	1645.7	99.1	3051.2	1504.6
50～60	1463.6	21.6	2539.6	1097.7
60～70	1335.2	160.1	1730.9	555.8
70～80	349.4	729.5	430.2	810.3
80～90	40.7	347.7	43.1	350.2

(『理科年表 2020年版』より作成)

- ア a - 北半球の陸地 b - 北半球の海洋
 ウ a - 南半球の陸地 b - 南半球の海洋
 オ a - 北半球の陸地 b - 南半球の陸地
 キ a - 北半球の海洋 b - 南半球の海洋

- イ a - 北半球の海洋 b - 北半球の陸地
 エ a - 南半球の海洋 b - 南半球の陸地
 カ a - 南半球の陸地 b - 北半球の陸地
 ク a - 南半球の海洋 b - 北半球の海洋

図



※この地図は、面積が正しく描かれた地図であり、地図中の緯線はすべて10度間隔で描かれている。

2 次ページの図1と図2を見て、問1から問4までの各問い合わせに答えよ。なお、図1は2003年頃の地図であり、図2は1984年頃の地図である。また、図1と図2の縮尺は2万5000分の1である。

問1 図1を見て、JR 武藏野線の「ひがしうらわ」駅から見た「埼玉学園大学」の方角として正しいものを、次のアからエのうちから一つ選べ。

ア 北東

イ 北西

ウ 南東

エ 南西

問2 図1中の地点Aから地点Bまでの地図上での長さは、6 cmである。5万分の1の地図で見た場合、この地点間の地図上の長さは何cmになるか。次のアからエのうちから一つ選べ。

ア 1.5 cm

イ 3 cm

ウ 9 cm

エ 12 cm

問3 次の写真aと写真bは、図1中のアからエのいずれかの地点で撮影したものである。写真aを撮影した後、同じ地点で右に90度ほど向きを変えて撮影したものが写真bである。これらの写真が撮影された地点を、図1中のアからエのうちから一つ選べ。

写真a



写真b



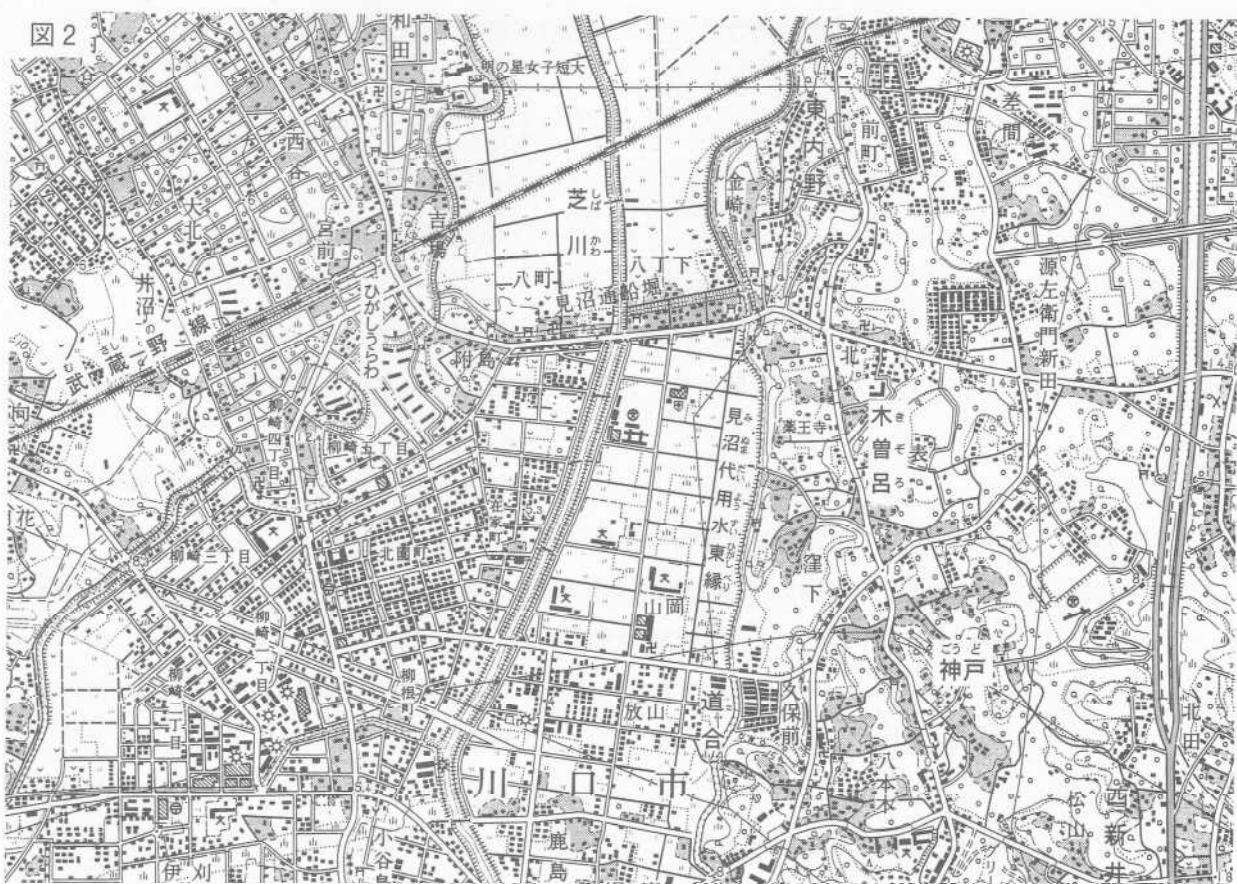
問4 図1と図2から、約20年間の変化について読み取ることができる内容として誤っているものを、次のアからエのうちから一つ選べ。

ア 「芝川」と「見沼代用水東縁」の間には、水田から畑に変わった農地がある。

イ 「ひがしうらわ」駅の北側では、道路が整備され、住宅が増えた。

ウ 「木曽呂」では、小学校もしくは中学校が新設された。

エ 「東京外環自動車道」の「川口西 I インターチェンジ C」の北側では、工場が増えた。



(日本地図センター『地図で見るさいたま市の変遷 - 都市変遷図』より作成)

3 問1、問2に答えよ。

問1 次の①から③の表は、それぞれ牛乳、チーズ、バターのいずれかの畜産物の生産量上位5か国の生産量と世界全体の生産量（2014年）を示している。下の各文も参考にして、②と③の畜産物名の組み合わせとして正しいものを、後のアからカのうちから一つ選べ。

①	(単位:千t)	②	(単位:千t)	③	(単位:千t)
インド	3798	アメリカ合衆国	93461	アメリカ合衆国	5585
アメリカ合衆国	846	インド	66423	ドイツ	2741
パキスタン	726	中国	37246	フランス	1886
ニュージーランド	472	ブラジル	35124	イタリア	1254
ドイツ	441	ドイツ	32395	オランダ	772
世界計	9978	世界計	652352	世界計	22652

(「世界国勢図会 2017/18年版」より作成)

○日本の牛乳生産量は約730万tで、人口が約3億人のアメリカ合衆国と一人当たりの牛乳生産量を比べると、日本はアメリカ合衆国の約5分の1である。

○バターの生産量は、上位3か国の合計が世界全体の生産量の半分を上回っている。

- | | |
|--------------|---------------|
| ア ②-牛乳 ③-チーズ | イ ②-牛乳 ③-バター |
| ウ ②-チーズ ③-牛乳 | エ ②-チーズ ③-バター |
| オ ②-バター ③-牛乳 | カ ②-バター ③-チーズ |

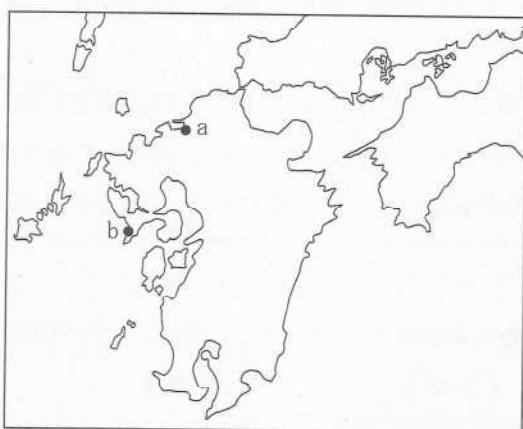
問2 現在の日本の酪農業についての説明として正しいものを、次のアからエのうちから一つ選べ。

- ア 日本アルプスとよばれる3000m級の山々がある中部地方では、スイスの酪農を参考にして酪農業がさかんであり、生乳の生産量では全国の約6割をしめている。
- イ 貿易の自由化が進み、価格の安い農産物が大量に輸入されているなか、牛乳や乳製品は例外として輸入禁止となっており、牛乳や乳製品の食料自給率は100%である。
- ウ 北海道では、広大な土地を生かした大規模生産を行っており、酪農家一戸当たりの乳牛の飼育頭数は他の都府県より多くなっている。
- エ 保冷車の普及などの輸送手段の進歩で、生乳のまま遠くまで出荷できるようになったので、大消費地に近い関東地方では生乳の生産は行われなくなった。

4 次の文章を読み、問1、問2に答えよ。

徳川家康は貿易の発展につとめ、日本船であることを証明する朱印状を京都・堺・(1)長崎の商人などに与え、外国に対しても朱印状をもつ船の保護を求めた。(2)この貿易により、中国の生糸などが日本に輸入され、日本からは銀などが輸出された。

問1 次の地図中のaとbは都市の位置を示している。文章中の下線部(1)に関して、この都市の位置と、この都市について述べた下の①から③の文との組み合わせとして正しいものを、後のアからカのうちから一つ選べ。



- ① 古くから中国や朝鮮半島との貿易で栄え、室町時代からは裕福な商人たちが町の代表となって自治が行われた。
- ② 江戸幕府の役人が管理する出島という人工島で、オランダの商人と貿易を行い、ヨーロッパやアジアからの情報を取り入れる窓口となった。
- ③ 海に面して砲台が設置されたが、沖合を通る外国船を砲撃したため、アメリカ・イギリス・フランス・オランダの軍艦によって報復攻撃を受けた。

ア a - ①

イ a - ②

ウ a - ③

エ b - ①

オ b - ②

カ b - ③

問2 文章中の下線部(2)に関して、幕府による朱印船貿易が行われていた時期の世界の状況として正しいものを、次のアからエのうちから一つ選べ。

ア 東に領土を広げたロシアが、日本との通商を求めて、使節レザノフを派遣した。

イ スペイン王の命を受けたマゼランの船隊が、初の世界周航を成しとげた。

ウ 尚氏が琉球王国を建国し、中国と東南アジアとの中継貿易で繁栄した。

エ 朝鮮は日本との国交を回復し、対馬の宗氏が日本側の外交の実務と貿易をになった。

- 5 史料A, Bを読み、問1から問3までの各問いに答えよ。なお、史料A, Bとも現代語に訳し、一部を変えたり省略したりしてある。

史料

A ……その国では、王はもとは男であったが、戦乱が続いたので、女の卑弥呼を王に立てた。卑弥呼は神に仕え、人々をひきつける不思議な力をもっていた。夫ではなく、弟が国の統治を助けていた。王となって以来、卑弥呼を見た者はほとんどいない。1000人もの女の召し使いに囲まれ、ただ一人の男子が食事の世話ををして、卑弥呼の言葉を外に伝えた。卑弥呼の宮殿には、物見やぐらや柵が厳重にめぐらされ、武器を持った兵士がいつも守っていた。……卑弥呼が死ぬと、大きな墓がつくられ、100人余りの奴隸がいっしょにうめられた。

B 国書には「日の出る處の天子が、手紙を日の没する處の天子に送ります。お変わりありませんか、云々」とあったので、皇帝はこれを見て機嫌がわるくなり、役人に「今後蛮夷の国からの書に無礼なものがあったなら、二度と奏上するな」と伝えた。

- 問1 史料Aの卑弥呼が王となった国が行った中国との外交について正しいものを、次のアからエのうちから一つ選べ。なお、「この国」は外交相手国を指す。

- ア 「この国」に使いを送り、王の称号と多くの銅鏡などの贈り物を受けた。
イ 「この国」から仏像と經典を贈られ、仏教が伝來した。
ウ 朝鮮半島諸国に対して優位に立つため、「この国」を含む南朝にたびたび使いを送った。
エ 他国にせめられた「この国」を救援するために大軍を送ったが、敗れた。

- 問2 史料Bは、小野妹子おののいもこを使者として中国の皇帝に送った国書に関するものである。史料B中の「日の出る處の天子」のときの出来事として正しいものを、次のアからエのうちから一つ選べ。

- ア 全国の土地と人民を國のものとする制度を定めた。
イ 勢力を強めて政治を独占していた蘇我氏そがをほろぼした。
ウ 中国にならって、はじめて年号を定めた。
エ 仏教などの考えを取り入れた憲法をつくり、役人の心得を示した。

問3 次の①から④の文には、史料Aと史料Bが示す時期の間に世界で起こった出来事として正しいものが二つ含まれている。その組み合わせとして正しいものを、下のアからカのうちから一つ選べ。

- ① キリスト教がローマ帝国の国教として認められた。^{ていこく}
- ② 孔子が仁と礼を基本とする政治を行うべきと主張し、儒学（儒教）を説いた。^{じゅがく　じゅきょう}
- ③ チングイス＝ハンが遊牧民の諸部族を統一してモンゴル帝国の基礎を築いた。
- ④ 朝鮮半島では高句麗が北部を支配し、南部に百濟・新羅が成立した。^{こうくり　くだら　しらぎ　ペクチ　シルラ}

ア ①と②

イ ②と③

ウ ③と④

エ ①と③

オ ①と④

カ ②と④

6 問1から問3までの各問い合わせに答えよ。

問1 次の史料が示す出来事よりも前に起こったものを、下の①から③のうちからすべて選び、その組み合わせとして正しいものを、後のアからキのうちから一つ選べ。なお、史料の文は現代語に訳し、一部を変えたり省略したりしてある。

史料

……天慶2年11月21日、常陸国に兵を進めた。常陸国司側はすでに護りを固めて将門の軍を待ちうけていた。……合戦の結果、常陸国の軍勢3000人が討ち取られた。……武蔵権守の興世王はひそかに将門に言った。「過去の例からみると、一つの国を討っただけでも朝廷の处罚は軽くない。どうせ同じことなら関東全体を奪い取って、しばらく様子をうかがったらどうか。」将門も答えて言った。「自分が思うところも同じだ。……同じことなら関東からはじめて都まで征服したいと思う。」……

(『將門記』)

- ① 源頼朝の命令を受けた源義経らの軍勢が壇ノ浦で平氏をほろぼした。
② 藤原道長が摂政になり、藤原氏の栄華は全盛期を迎えた。
③ 唐がおとろえたため、菅原道真の提案によって遣唐使の派遣を停止した。

ア ①

イ ②

ウ ③

エ ①と②

オ ②と③

カ ①と③

キ ①と②と③

問2 江戸時代末期から明治時代初期にかけての、戊辰戦争前後の出来事を起こった順に正しく並べたものを、次のアからエのうちから一つ選べ。

- ア 王政復古の大号令 → 大政奉還 → 戊辰戦争 → 版籍奉還 → 廃藩置県
イ 大政奉還 → 王政復古の大号令 → 戊辰戦争 → 廃藩置県 → 版籍奉還
ウ 王政復古の大号令 → 大政奉還 → 戊辰戦争 → 廃藩置県 → 版籍奉還
エ 大政奉還 → 王政復古の大号令 → 戊辰戦争 → 版籍奉還 → 廃藩置県

問3 次のアからエは、1890（明治23）年、1915（大正4）年、1932（昭和7）年、1965～66（昭和40～41）年のいずれかの年に発表された文学作品の説明である。これらの文学作品を発表年の古い順に並べ直したとき、2番目にくるものを次のアからエのうちから一つ選べ。

- ア 芥川龍之介の『羅生門』は、大衆文化の普及とデモクラシーの風潮のなかで、平安時代を題材にしつつも個人の生き方について描いた。
- イ 久志美沙子の『滅びゆく琉球女の手記』は、関東大震災や世界恐慌による不況に苦しむ沖縄の生活や差別問題などを描いた自伝的小説である。
- ウ 井伏鱒二の『黒い雨』は、原子爆弾投下後に降った放射性物質を含む雨により被爆した女性と、その周囲の人々の苦悩を描いた。
- エ 森鷗外の『舞姫』は、文明開化をへて欧米文化を積極的に取り入れようとする時代において、主人公が自身のドイツ留学を回想する小説である。

- 7 次の文章は、外務大臣を務めた重光葵しげみつまさるが行った演説の一部である。これを読み、問1から問4までの各問いに答えよ。なお、一部の漢字をひらがなに直している。

長期にわたりわれわれの念願を実現するためにたわまざる努力を惜しまなかつた(1)国々の代表に対しては、私はこの機会において心から感謝の意を表明する次第であります。
・・・(中略) わが国の今日の(2)政治、経済、文化の実質は、過去一世紀にわたる欧米およびアジア両文明の融合ゆうごうの産物であつて、日本はある意味において(3)東西のかけ橋となりうるのであります。

※「たわまざる」は「意おこたらない」の意

(外務省パンフレット『日本と国連』より作成)

- 問1 この演説は、第二次世界大戦が終った後に成立した国際連合（国連）において行われたものである。国連の成立より前に起こった出来事を年代の古い順に並べ直したとき、3番目にくるものとして正しいものを、次のアからエのうちから一つ選べ。

- ア アメリカ軍が東京に無差別爆撃ばくげきを行つた。
イ 日本はポツダム宣言を受け入れ、無条件降伏を決めた。
ウ 日本はドイツ、イタリアと三国同盟を結んだ。
エ 日本軍がハワイの真珠湾しんじゅわんを攻撃し、太平洋戦争が始まった。

- 問2 下線部(1)について、この「国々の代表」とは、当時の国連加盟国のことを指し示している。これらの国々を含めて、第二次世界大戦後の日本と諸外国との条約に関する事柄ことがらとして正しいものを、次のアからエのうちから一つ選べ。

- ア 日本とアメリカの間で結ばれた安全保障条約の改定に対して、戦争に巻き込まれる危険があると批判する人々が国会議事堂のまわりで反対運動を行つた。
イ 日本と、イギリスおよびフランスとの間で講和条約を結んだことにより、日本は東側諸国の一員として国際社会に復帰し、自衛隊の創設を許された。
ウ 日本と中華人民共和国（中国）の間での戦争状態は解消されないまま時が経ち、現在においても平和友好条約が結ばれていない。
エ 日本と、大韓民国（韓国）および朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）との間では、基本条約を結ぶことにより国交が正常化された。

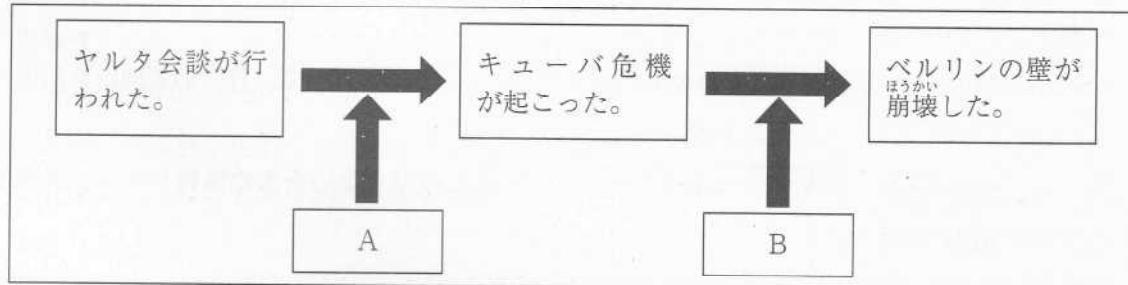
問3 下線部(2)について、次のIからIVのカードは、日本の政治、経済、文化について書かれているものである。この演説が行われた、日本が国連に加盟したころの事柄が述べられているものを選んだ組み合わせとして正しいものを、下のアからカのうちから一つ選べ。

- | | |
|--|---|
| I 大衆雑誌が創刊され、モダンボーイ（モボ）やモダンガール（モガ）といった流行が生まれた。 | II インターネットなど情報通信技術が進み、グローバル化が急速に展開した。 |
| III 工場を建てるなど設備投資が増加するといった重工業化が進展し、高度経済成長が始まった。 | IV 保守合同ともよばれる、自由民主党の結成が実現し、以後、約40年間にわたる政権が始まった。 |

- ア IとII
エ IIとIII
イ IとIII
オ IIとIV
ウ IとIV
カ IIIとIV

問4 下線部(3)について、この演説における「東西のかけ橋」という言葉は「東洋と西洋のかけ橋」という意味で使われたと考えられるが、特にこのころ「東西」といえば冷戦構造における対立を象徴する言葉でもあった。冷戦のようすについて示した次の図中のAとBに当てはまる出来事の組み合わせとして正しいものを、下のアからエのうちから一つ選べ。

図



	A	B
ア	日ソ共同宣言が発表された。	アジア・アフリカ会議（バンドン会議）が開かれた。
イ	日ソ共同宣言が発表された。	第一回先進国首脳会議（サミット）が開かれた。
ウ	中国に対する二十一か条の要求が示された。	アジア・アフリカ会議（バンドン会議）が開かれた。
エ	中国に対する二十一か条の要求が示された。	第一回先進国首脳会議（サミット）が開かれた。

8 次の文章を読み、問1から問4までの各問い合わせに答えよ。

人権の思想は古代から当たり前のように存在していたのではなく、人々の長く苦しい戦いの中で勝ち取ったものである。欧米諸国では、(1)社会契約説における自然権思想の普及と近代市民革命の過程を経ていくことで人権思想が展開する。それらの近代市民革命の中で誕生した近代的な人権宣言として、例えば(2)フランス人権宣言がある。
(3)人権思想の展開に伴い、国際的な保障が求められるようになっていった。しかし、いまだに世界では(4)人権をおびやかす戦争や紛争が多数起こっている。

問1 下線部(1)について述べた文として誤っているものを、次のアからエのうちから一つ選べ。

- ア ルソーは、主権は人民にあるという人民主権の考えを主張した。
- イ ルソーは、人民が主権をもつと争いが起きると考え、絶対王政を支持した。
- ウ ロックは、立法府と行政府の権力分立を主張した。
- エ ロックは、国民の意思を無視するような政治権力に対する抵抗権を認めた。

問2 下線部(2)の条文として正しいものを、次のアからエのうちから一つ選べ。なお、条文は日本語または現代語に訳してある。

- ア この國に神の下で自由の新しい誕生を迎えるために、そして、人民の人民による人民のための政治を地上から決して絶滅させないために、我々がここで固く決意することである。
- イ 経済生活の秩序は、すべての者に人間たるに値する生活を保障する目的をもつ正義の原則に適合しなければならない。
- ウ 人は自由かつ権利において平等なものとして出生し、かつ生存する。社会的差別は共同の利益においてのみ設けることができる。
- エ この憲法が国民に保障する基本的人権は、侵すことのできない永久の権利として、現在及び将来の国民に与えられる。

問3 下線部(3)に関して、人権の歴史的な展開について、次のAからCの事柄を年代の古い順に並べ直したものとして正しいものを、下のアからカのうちから一つ選べ。

- A 日本ではじめて男女普通選挙が行われた。
- B イギリスで権利章典が作られた。
- C アメリカで独立のための宣言が発せられた。

- ア A → B → C
- イ A → C → B
- ウ B → C → A
- エ B → A → C
- オ C → A → B
- カ C → B → A

問4 下線部(4)に関して、次の年表は、第二次世界大戦後に発生した世界での戦争や紛争と、それに関連する事柄をまとめたものである。下の説明文中の下線部の事柄が起こった時期として正しいものを、年表中のアからエのうちから一つ選べ。

年表

西暦	事柄
1945年	ドイツで戦犯を裁く裁判が始まる。
	↑ ア
1953年	朝鮮戦争の休戦協定が結ばれる。
	↑ イ
1973年	イスラエルとアラブ諸国間で戦争が起こる。
	↑ ウ
1990年	イラクがクウェートに侵攻する。 <small>しんこう</small>
	↑ エ
2013年	シリアでの内戦が激しくなる。

説明文

第二次世界大戦後に日本軍が撤退したあと、インドシナ半島の地域が独立を求めたことをきっかけとして紛争が発生し、共産主義の拡大を懸念するアメリカが介入したことから戦闘状態が長期化した。けねん せんとう 沖縄のアメリカ軍基地から爆撃機おきなわ ばくげき が飛び立つなど、日本でもこの戦争に対する関心が高まった。